

KPTを使って振り返り

# KEEP

成果に繋がった行動を  
探して、続ける。

# PROBLEM

伸びしろ、課題点、  
問題点の発掘

# TRY

伸びしろ、課題点、  
問題点への挑戦

# KEEP

【成果】出来ることが増えた！

【行動】やったことが無い事をやった！

【成果】知識なしのスタートから、ショートカットを使いながら、プログラムが書けるようになった。

【行動】初めてで分からない事も多かったが、不明点を残さないように意識し、周囲への質問も積極的に行った。

【成果】専門学校では、あまり触れなかったライブラリを使い、同じ処理を短く書くことができた。

【行動】新しい知識を取り入れ、実際に使ってみた。

【成果】苦手だった挨拶が少しできるようになった。

【行動】研修開始時は、苦手意識もあり、入退室時に挨拶が出来なかった。

他の方が、挨拶をしているのを見て、勇気を出して、挨拶をしてみたら、次の日もできた。

【成果】自分から報告ができるようになった。

【行動】報告の必要性を理解し、作業が終わったら、報告するルールを自分で設け、実践した。

たくさん、あればあるほど良い！  
些細なことでも、大きな成長！

# PROBLEM

- ・朝、会場に到着するのが、ぎりぎりになることがあった。
- ・考える前に、質問してしまう時があった。
- ・〇〇に取り組んでいれば、もっと成長できたと感じた。
- ・〇〇をしようと思っていたが、周囲の目が気になり出来なかった。
- ・この位、理解していれば、大丈夫だと思っていたが、開発でうまくいかなかった。
- ・〇〇を、後でやろうと思ったが、するのを忘れしまった。

たくさんあればあるほど良い！  
課題や問題点は、伸びしろ！  
気づきがあること自体が、大きな成長。

# TRY (PROBLEMへの挑戦)

- ・朝、会場に到着するのが、ぎりぎりになることがあった。  
→ YouTubeショートを見ていて気付いたら、予定時間を過ぎていたことが多かった。  
朝は、ショートを見ない！帰って見る！
- ・考える前に、質問してしまう時があった。→「10分考えてから、質問する」ルールを設け実践する。
- ・〇〇に取り組んでいれば、もっと成長できたと感じた。→重要度の高い行動を考え、リストに記述する。
- ・〇〇をしようと思っていたが、周囲の目が気になり出来なかった。  
→自分の為になることは、勇気を持って行動する。まずは〇〇から始める。
- ・この位、理解していれば、大丈夫だと思っていたが、開発でうまくいかなかった。  
→理解したと認識するレベルをあげる。同期の人と、その日の講義内容をすり合わせる時間を作ることにした。
- ・〇〇を、後でやろうと思ったが、するのを忘れしまった。→出来ることはすぐやる。後回しにするときはメモする。

一度にたくさん挑戦しなくても良い。  
影響度の高いものから行動に移そう。

成長とは？

イメージを実現するための一歩。

イメージが大切。